

国立大学法人秋田大学の平成 17 年度に係る業務の実績に関する評価結果

1 全体評価

秋田大学は、学内全ての人的・知的財産を核として、国際的な水準の教育研究を遂行することにより、地域の振興と地球規模の課題の解決に寄与し、国の内外で活躍する有為な人材を育成することを目指している。

同大学は、法人化後、大学戦略に基づく資源配分を行っているが、平成 17 年度には適切な配分とその検証に着目し、「秋田大学戦略推進経費配分に対する中間評価・事後評価の指針」を策定し、定められた評価の基準に従い自己評価を行うなど着実に成果を上げている。

この他、業務運営については、事務改善合理化委員会において、複数大学で共同処理が可能な業務の検討を行っており、今後の取組が期待される。一方、大学院博士課程において、学生収容定員の充足率が 85 % を満たさなかったことから、今後、速やかに定員の充足や入学定員の適正化に努める必要がある。

財務内容については、施設利用の利便性向上のため、施設の利用状況・稼働状況等を学内のウェブサイトで公開する「施設管理データベースシステム」を導入しており、施設の有効活用の取組として評価できる。

教育研究の質の向上については、同大学の目標の達成を支援するために設立された秋田大学教育研究支援基金の事業として「学業奨励金制度」を創設し、成績優秀者表彰を実施しており、有効な学生支援策に力をいれている。

2 項目別評価

・業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化

運営体制の改善

教育研究組織の見直し

人事の適正化

事務等の効率化・合理化

平成 17 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

財務企画会議において、平成 17 年度予算作成・執行指針を決定し、役員会等で了承の後、学内予算配分を行い、また、施設マネジメント企画会議において、学内スペースの有効活用の方法を学内に公募し、活用方法を決定するなど各企画会議及び委員会において各担当理事の下、機動的な大学運営を推進している。

学外から財務担当理事 1 名、経営協議会 5 名、評価センター運営委員会 1 名、評価センター評価委員会 1 名を学外委員として登用し、それぞれの立場から国民や社会の視点に立った積極的意見を大学の運営に反映させている。さらに、評価センター運営委員会の学外委員、評価センター評価委員会の学外委員を交えたシンポジウム「経営の観点からみた秋田大学の評価と将来像について」を実施し、民間での経営の考え方を学ぶことや国立大学法人の今後の経営の在り方を考える機会となっている。

決算業務を円滑・正確に行うため決算整理マニュアルを作成している。

知的財産担当の学長補佐が配置され、広く知的財産関係の業務に対し指導・助言が可能となっている。

人事評価システムについては、情報収集を行い、評価結果を適切に給与等に反映させる給与制度について検討が行われているが、今後システムの具体的策定と実施に向けた取組が期待される。

「教職員の人事の適正化に関する推進会議」において、流動性、多様性を推進するため、「同一大学出身者の割合、外国人、女性及び障害者の積極的登用に関する指針」を策定し周知を図っている。

附属病院集中治療部に1か月単位の変形労働時間制を導入し、教育推進総合センター所属教員とベンチャー・ビジネス・ラボラトリー所属教員に専門業務型裁量労働制を導入している。

民間企業経験者や他機関経験者等多様な経験を有する者の採用比率を50.8%（平成16年度）から63.1%（平成17年度）へ増加させている。また、女性教員比率を11.1%（16.10.1）から12.1%（17.10.1）へ増加させている。

広報担当の理事との連携を円滑にするため総務課から広報室を分離し、総務部広報室として設置している。

大学戦略推進経費の適切な配分とその検証に向けて「秋田大学戦略推進経費配分に対する中間評価・事後評価の指針」を策定している。ここでの評価対象は、大学戦略推進経費に含まれる「年度計画推進経費」「学部戦略推進経費」「病院経営戦略経費」「施設予防保全経費」による各事業の達成状況であり、定められた評価の基準に従い自己評価を行うことを基本としているが、必要に応じて、評価改善戦略会議（部局長等連絡調整会議）が評価を行っている。当該年度末に「中間評価」を行い事業の達成状況を検証し、次年度の6月末には「事後評価」により事業の実施効果を検証することとしている。

経営協議会における指摘に対して、核燃料物質の管理について管理体制を見直し、放射線安全管理委員会を設置することにより、体制の強化を図っているなど、意見を大学運営に反映させている。

平成17年度の実績のうち、下記の事項に課題がある。

大学院博士課程において、学生収容定員の充足率が85%を満たされなかったことから、今後、速やかに定員の充足や入学定員の適正化に努める必要がある。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。

（理由）年度計画の記載29事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるが、大学院博士課程において学生収容定員の充足率85%を満たされなかったこと等を総合的に勘案したことによる。

（2）財務内容の改善

外部研究資金その他の自己収入の増加
経費の抑制
資産の運用管理の改善

平成 17 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

学内予算配分において、定期刊行物、印刷物等の削減により、管理的経費予算を対前年比 4 % 節減している。

施設利用の利便性向上のため、施設の利用状況・稼働状況等を学内のウェブサイト
で公開する「施設管理データベースシステム」を導入している。

法人の経営基盤確立の観点から、中期計画期間中の財政計画の基本的な考え方等
について整理し、「中期計画中の財政計画について」を定め、学内への周知を図ってい
る。

中期計画における総人件費改革を踏まえた人件費削減目標値が設定されている。な
お、今後、中期目標・中期計画の達成に向け、着実に人件費削減の取組を行うことが
期待される。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる
(理由) 年度計画の記載 6 事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認めら
れ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(3) 自己点検・評価及び情報提供
評価の充実
情報公開等の推進

平成 17 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

自己点検・評価結果を踏まえ活用するシステム構築の一環として、評価センターが
「秋田大学内各組織における自己評価の指針」を提示し、学内各組織の担当委員会は、
独自の自己評価基準を策定している。

情報セキュリティポリシーについて、各部局毎に実施手順書を作成し、構成員へ周
知徹底を図り試行している。

学内コンピュータ・ネットワークシステムの将来のあるべき姿をまとめた「秋田大
学情報化推進基本計画」及び「情報化推進計画(マスタープラン)」に基づき、全学
的システム作りの見地から具体的な推進を図るため、情報化推進委員会の下に「秋田
大学情報化推進室」を設置している。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
(理由) 年度計画の記載 4 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は
「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案
したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要事項

施設設備の整備等

安全管理

平成 17 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

建築物等の修繕計画に基づいた、緊急修繕費「施設等維持管理経費」(1億8,000万円)を2カ年計画により措置している。

災害マニュアルとして「地震及び火災発生など緊急時における対応について」を作成し、学内への周知徹底を図っている。なお、事件・事故や薬品管理等に関する全学的なマニュアルが策定されていないことから、同様の取組が期待される。また、危機管理に関しては、全学的・総合的な危機管理体制の確立が期待される。

【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由)年度計画の記載 19 事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

・教育研究等の質の向上の状況

評価委員会が平成 17 年度の外形的・客観的進捗状況について確認した結果、下記の事項が注目される。

秋田大学基本理念の達成を支援するために設立された秋田大学教育研究支援基金の事業として「学業奨励金制度」を創設し、成績優秀者表彰を実施することとしている。

学部横断的な研究プロジェクト支援のための募集要項及び選定手順を作成し、4件(工学資源学部2件、医学部・附属病院2件、応募11件)を年度計画推進経費にて選定している。

知的財産ポリシーの策定及び発明等規程の全面改正を行い、ウェブサイトに掲載するなど全学に周知し、学内で「発明等規程に関する説明会」を4回開催し、意見等の集約と理解を求めるための啓蒙活動等を実施している。また、「知的財産本部知的財産運用マニュアル」を策定し、役員会において審議・了承され、知財の醸成・推進の環境を整えている。

品質マネジメントシステム(ISO9001)の認証を取得するために、5月に本審査を受審し5月末に認証を取得し、以後も継続的に品質マネジメントシステムの活動を続け、12月に維持審査を受審している。

学部教員による附属学校園での授業実践は、これまでも継続的に実施されてきたが、特に教科教育等教員連絡会議の15の個別連絡会議を核として実施している。